

【娘との出会いと心の変化】

大分市 牧 克洋さん

娘と出会って5ヶ月、「こんな幸せがあったんだ」と気付かされる毎日を送っています。それは、娘を思う気持ちです。娘が生まれる前は、子どもができたらかわいいんだろうな、大切に思う気持ちが育つんだろうなといろいろなことを想像していました。しかし、実際に娘が生まれて一緒に暮らしていくうちに、今までに味わったことのない幸せを感じるようになりました。それは、娘をいとおしく思う気持ちや娘の笑顔、たどたどしく寝返りをうつ瞬間、うつぶせになって顔を持ち上げる瞬間、初めて授乳する瞬間、生まれた瞬間、呼びかけに反応する瞬間、授乳後にへとへとになって肩をおとす瞬間、お風呂でひとときを過ごす瞬間、私の手の中で泣きながらも最後は寝てしまう瞬間、喃語を発する瞬間、声を出して笑う瞬間、大の字で寝ているのを見る瞬間、携帯の待ち受け画面を見る瞬間など、いろいろな瞬間で感じます。

毎日の生活もがらりと変わりました。私自身の健康にも気遣うようになり、朝早く起き、夜は早めに寝る習慣がつくようになりました。食事についても油ものや塩分は控えめにし、授乳に最適といわれているメニューに慣れてきました。なんとなく体が軽くなったような気がします。これも娘のおかげ。生活の中心が娘になっています。

ママにもとても感謝するようになってきました。娘を苦しい陣痛の中で産んだことはもちろんですが、その後は3時間おきに授乳して、夜もぐっすり眠れない日々を過ごしていました。それを横目に、パパは何もできずにただ申し訳ない気持ちで眠っていました。今ではそんなママがとても強く見えます。

最近、人見知りもするようになり、ママでしか泣きやまないことも多々あります。そんな時少しさみしい気持ちになりますが、これも娘の成長の過程のひとつの心に言い聞かせています。その分、休みの日やちょっとした隙間時間には、娘を抱いてあげようという気持ちが高まっています。二度とないこの育児の時間を日々大切にしながら過ごしていかないといけないという気持ちが強くなっています。